



まるやま

新潟市立丸山小学校
学校だより 8号
令和8年2月18日

学校目標 **みんな かがやく**
未来につながる力 **自分力 関係力 創造力**



ネット社会の歩き方

本日、2月18日（水）の全校集会で、情報モラルについてのお話をしました。タブレットやスマートフォン、ゲーム機などを通じたネットトラブルが全国的に多発しています。丸山小学校も例外ではありません。ささいな SNS のやりとりから心を痛める人がいたり、使う時間や目的などルールを守らない人が見られたりします。特に怖いのは動画や写真のネット上の拡散です。最近、中・高校生のいじめ動画拡散が社会問題になっています。そのようなことが起きないように、小学校のうちから、正しい知識や技能を身に付けておくことが必要です。「ネット社会の歩き方」という情報モラルサイトを使って、子どもたちに次のようなお話をしました。概要をスライドでお伝えします。

学習用
タブレットは
便利な道具



きちんと
ルールを
守っていますか？

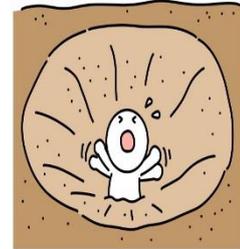


ネット
トラブル
いじめ



①学習用タブレットは便利な道具です。便利な道具をずっと便利なまま使い続けるためには、決められたルールを守ることが大切です。ネットトラブルやいじめはなぜ起きるのでしょうか？それは「少しぐらいいいだろう」「みんなもやっているから」という軽い気持ちがかきかけになることが多いです。その軽い気持ちが、やがて大きな穴になって広がり、しまいには自分でも抜け出せない状態になります。

少しぐらいいいだろう
みんなもやってるから



②（ネット社会の歩き方よりアニメーション教材）

軽い気持ちで友だちの失敗する様子をタブレットで盗撮して、その写真を校内の友だちに送ったノボルさん。一度誰かの手に渡った写真はもうブレーキがかかりません。ネット上にどんどん拡散され、校内だけでなく全国、世界へと広がっていったのです。写真を撮られたヒロキさんは深く傷付き、学校に来ることができなくなりました。

ポイントはここ!

まとめ 2/2

- 人の心を傷つける文章や写真をネット上に流すことは人権侵害で、絶対にやってはけない
- どのような表情やポーズを撮られることが、その人を傷つけることになるのかわからないので、勝手に写真を撮らない
- ネット上に流した文章や写真は、無数にコピーされると、削除しきれない
- 被害者は、その文章や写真が再び流れ始めないかという不安を、一生抱き続けなければならない
- 加害者の責任は重く、罪深い行為と言える



③ノボルさんの何がいけなかったのか考えてみましょう。人の心を傷つける文章や写真、動画をネットに流すことは人権侵害です。一度、ネットに流出・拡散すると、削除しきれなくなります。その行為はとても罪深い行為と言えます。



拡散

5日
1億回

たくさんのふつうの生活に
こわい思い もどれない

④このアニメーションは作り話だろうと思った人は大間違いです。実際はもっと悲惨な事件が全国で起きています。いじめの様子を撮影した動画がインターネット上に拡散され、大問題になっている事件が、中学校や高校で起きています。

これらの動画は、視聴回数が5日間で1億回になるぐらい、あっという間に日本全国、いや世界中に広がっていきました。そうすると、いじめた人も、いじめられた人も、そして撮影した人も、学校の先生も、おうちの人も、顔や名前などの個人情報を探られたり、たくさんの非難を浴びたり、家や学校に知らない人が許可なく入り込んだりなど、たくさん怖い思いすることになり、普段通りの生活に戻れるまで、長い時間がかかります。

まさに、軽い気持ちでやったことが、大きな穴となって広がり、しまいには自分が落ちて抜け出せない状態になるのです。

正しい歩き方を学ぶ

⑤小学校のうちから正しい知識を学んでいれば、便利な道具をいつまでも便利なまま使い続けられ、そして、中学生、高校生、大人になっても、正しくネット社会を歩き続けられます。そんな正しい知識を学べるサイト「ネット社会の歩き方」を学級の授業や自主学習で活用してみてください。

保護者の方からも、子どもたちの正しい端末機器の使い方やルール、ネットによる人権侵害をしないことなど、正しい情報モラルについて、お子さんとお話する機会をもっといただくとありがたいです。その際、以下のサイトが大変参考になると思いますので、お時間のある時に覗いてみてください。

「ネット社会の歩き方」(一般社団法人日本教育情報化振興会作成)

<https://www.japet.or.jp/net-walk/>